

幼稚園再開するにあたり新型コロナウイルス感染症対策

令和2年5月25日
学校法人 善永学園
光輪幼稚園
園長 高輪 真澄

新型コロナウイルス感染症がやや下火になり、6月1日より幼稚園が再開するにあたり園としての感染症対策をまとめました。

1. 基本

まだまだ正体のしれない新型コロナウイルスに対抗するため、光輪幼稚園においても「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、幼児の健やかな発達を促進していくことが必要。

しかし感染者が確認されたらすぐに各方面と連携し、保健管理体制を築く。

また園と家庭との連携をますます強め、ともに信頼関係を築いていくことを心がける。

2. 園児への指導

(1)新型コロナウイルスについてお話をし、理解してもらう。

感染症の話、手洗い指導、マスク着用指導、園での過ごし方

(2)基本的な感染症対策に取り組む

- ①感染源を絶つこと
- ②感染経路を絶つこと
- ③抵抗力を高めること

① 感染源を絶つこと

- ・ 園児、職員ともに、発熱等の風邪の症状がある場合、登園しないことの徹底。
- ・ 登園時の健康状態の把握
コミュナビを使って体温健康状態を家庭と園で共有する。
- ・ 保育中に発熱等の風邪の症状が見られた場合、保護者と連絡を取り帰宅させる。基準は従来通り 37.0 度以上とする。また園内で休む場合は新設した旧ひよこ組保健室にて待機する。他の園児との接触を少なくする。

② 感染経路を絶つこと

ウイルスは飛沫感染、接触感染で広まっていく。そこで手洗い、咳エチケット、消毒を徹底する。

③ 抵抗力を高めること

免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスのとれた食事」を心がけるよう園と保護者との連携を強くする。

3. 集団感染リスクへの対応

新型コロナウイルス感染症では

- ・換気の悪い密閉空間 密閉
- ・多数が集まる密集場所 密集
- ・間近で会話や発声をする密接場面 密接

の三つの条件が重なる場所で集団感染のリスクが高まるとされている。そこでリスクを低減していくことをめざす。

密閉 常に換気を心がける。夏に向かいエアコンを使用するときも窓を開けるようにする。

密集 人との感覚を1～2メートル開けることが求められている。教室では広く使って間隔を開けるようにする。園庭などでも密集を避けるようにする。登園、降園時も密集を避ける。バスも定員を少なくする。

密接 園においては避けることは大変難しい。そのため保育者・園児とも「マスク」を着用することとする。手作りマスクも可。

4. 重症化リスクの高い園児等への対応

- ・医療的ケアを必要とする園児には主治医、保護者の意見を考慮し登園を判断する。
- ・保護者から感染の不安のため休ませたいと相談があった場合、まず園の感染症対策を十分説明し理解を得るように努める。しかし合意していただけない場合園長の判断で許可する。

5. 教職員の感染症対策

毎日の検温など体調管理を心がける。風邪等の症状が出た場合は速やかに帰宅する。

職員室も密になるためバリアを設けるとともに、会議はなるべく全体を避け、少人数会議をする。またオンライン会議も活用する。

6. 園行事について

6月のバザー、7月の盆踊りは中止します、8月の年長のお泊まり保育は「デイキャンプ」として行います。実施方法は未定。

2学期以降の行事は9月に決定します。

7. 保育時間、日程について

- ・6月17日(水)まで「午前保育」 預かり保育あり
- ・6月18日(木)より「通常保育」 同上
- ・7月20日(月)一学期終業式
- ・夏期預かり保育あり
- ・9月1日(火)二学期始業式
- ・内科検診、歯科検診は9月以降に行う。

8. 保護者の会について

6月にクラスから役員を選出する。ホールなど使用可。総会はオンライン会議で行いたいが、無理なら文書で通知するのみとする。

9. バスの運行について

バスは3密の場、それを避けるため一人一席として密集を避け、1コース増やす。換気に心がけ。毎回消毒を行う。発熱したり風邪症状の園児は乗車せず欠席してもらおう。確認はコミュナビを使用する。園児定員マイクロバス15人、ハイエース10人。

10. 徒歩通園のお迎え時間変更について

お迎え時の密集を防ぐために、お迎え時間を学年毎に変更いたします。

年中組	(午前保育)	11時30分	(標準保育)	14時30分
年長組	(午前保育)	11時40分	(標準保育)	14時40分
年少組	(午前保育)	11時50分	(標準保育)	14時50分

※ご兄弟がいらっしゃる方は、早い時間に一緒にお迎えをしてください。お迎え後は速やかにお帰りください。

11. 園で感染者が発生した場合

園児または教職員が感染した場合、保護者や本人から園へ連絡が入る。濃厚接触者などの情報を園が持っていたら、速やかに関係機関に報告する。園児は出席停止となる。濃厚接触者も出席停止2週間。園内の消毒を行う。また園の全部または一部の臨時閉鎖もあります。

12. その他

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」2020.5.22Ver1 p.39の「第5章幼稚園においてとくに留意すべき事項について」を参考にして行動する。

第5章 幼稚園において特に留意すべき事項について

幼稚園においては、前章までに述べた感染症対策を参照するとともに、幼児特有の事情を考慮し、以下の事項に留意します。

1. 幼児期は身体諸機能が発達していくとともに、依存から自立へと向かう時期であることから、
 - ・ 幼児が自ら正しいマスクの着用、適切な手洗いの実施、物品の衛生的な取扱い等の基本的な衛生対策を十分に行うことは難しいため、大人が援助や配慮をするとともに、幼児自身が自分でできるようになっていくために十分な時間を確保すること。なお、幼児については、マスク着用によって息苦しくないかどうかについて、教職員及び保護者は十分に注意すること。
 - ・ 幼児期は教えられて身に付く時期ではないことから、幼児が感染症予防の必要性を理解できるよう説明を工夫すること。等の配慮等が考えられます。
2. 幼稚園は遊びを通しての総合的な指導を行っており、他の幼児との接触や遊具等の共有等が生じやすいことから、
 - ・ 幼稚園教育では、幼児の興味や関心に応じた遊びを重視しているが、感染リスクを踏まえ、幼児が遊びたくなる拠点の分散、幼児同士が向かい合わないような遊具等の配置の工夫や教師の援助を行うこと。
 - ・ 時間割がなく、幼児が主体的に様々な場所で活動している実態を踏まえ、適時、手洗いや手指の消毒ができるよう配慮すること。
 - ・ 幼児が遊びを楽しみつつも、接触等を減らすことができるよう、遊び方を工夫すること。
 - ・ 幼児が歌を歌う際にはできる限り一人一人の間隔を空け、人がいる方向に口が向かないようにすること。等の指導上の工夫・配慮等が考えられます。
3. 登降園の送り迎えは、保護者同士が密接とならないように配慮するとともに、教職員と保護者間の連絡事項は掲示板を活用するなどして会話を減らす工夫をします。